

英語学

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 大沼 仁美 助教		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
担 当 教 員	大沼 仁美 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	後期		

・学習方針（講義概要等）

このコースでは、英語を言語学的観点から研究する英語学の諸分野を概観する。英語学は、コミュニケーションの手段として英語を捉えるのではなく、英語そのものが持つ特徴や規則性を観察し、それらを記述し、原理的に説明することを通じて、人間が有する言語能力を明らかにしようとする学問である。英語学は大きく統語論、形態論、音韻論、意味論の下位分野に分かれており、本コースではそれぞれの分野における研究対象や研究手法を、基礎的なデータを通じて学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

英語学の諸分野における基礎的な概念や研究手法を学ぶことで、英語を分析的に観ることができる。
(ディプロマポリシー：7、8)

・到達目標（SBO）

1. 英語学の基本的な概念、研究手法を理解できる。
2. 英語の文を統語論的観点から分析することができる。
3. 英語の語を形態論的観点から分析することができる。
4. 英語の音を音韻論的観点から分析することができる。
5. 英語の語を意味論的観点から分析することができる。

・ 講義日程

【講義】

月日	曜日	時限	講座 (学科)	担当教員	講義内容/到達目標
9/3	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	英語学 序論 1. 言語学とは何か説明できる 2. 言語学の様々な分野の違いを理解できる 事前学習：教科書 1-4 ページを読んで理解しにくい点を明確にする A-2-2)-①
9/10	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	第1章 英語学とは 1. 英語学とは何か説明できる 2. 英語学の低位分野の違いを理解できる 事前学習：教科書 5-7 ページを読んで理解しにくい点を明確にする A-2-2)-①
9/17	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	第2章 統語論(1) 1. 統語論とは何か説明できる 2. 統語論で用いる基本単位や、分析方法を理解できる 事前学習：教科書 9-12 ページを読んで理解しにくい点を明確にする A-2-2)-①
9/24	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	第2章 統語論(1) 1. 句構造規則とは何か説明できる 2. 文の構造を樹形図で表すことができる 事前学習：教科書 13-15 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①
10/1	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	第3章 統語論(2) 1. 文の構造を樹形図で表すことができる 事前学習：教科書 35-38 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①

10/22	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	<p>第4章 形態論</p> <p>1. 形態論とは何か説明できる</p> <p>2. 形態論で用いる基本単位や、分析方法を理解できる</p> <p>事前学習：教科書 65-68 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①</p>
10/29	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	<p>第4章 形態論</p> <p>1. 語を形態素に分けることができる</p> <p>2. 語の構造を樹形図で表すことができる</p> <p>事前学習：教科書 69-74 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①</p>
11/5	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	<p>第4章 形態論</p> <p>1. 複合語の構造を理解できる</p> <p>2. 複合語の構造を樹形図で表すことができる</p> <p>事前学習：教科書 76-84 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①</p>
11/12	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	<p>第5章 音韻論</p> <p>1. 音韻論とは何か説明できる</p> <p>2. 音韻論で用いる基本単位や、分析方法を理解できる</p> <p>3. 発声器官の名称と場所を説明できる</p> <p>事前学習：教科書 87-88 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①</p>
11/19	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	<p>第5章 音韻論</p> <p>1. 子音の音声記号を理解できる</p> <p>事前学習：教科書 90-93 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①</p>
11/26	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	<p>第5章 音韻論</p> <p>1. 母音の音声記号を理解できる</p> <p>2. 英語のリズムについて理解できる</p> <p>事前学習：教科書 93-94 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①</p>

12/3	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	<p>第5章 音韻論</p> <p>1. 英語の様々な音の変化の仕組みを理解できる</p> <p>事前学習：教科書 97-104 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①</p>
12/10	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	<p>第6章 意味論</p> <p>1. 意味論とは何か説明できる</p> <p>2. 意味論で用いる基本単位や、分析方法を理解できる</p> <p>事前学習：教科書 119-122 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①</p>
12/17	木	2	英語分野	大沼 仁美 助教	<p>第6章 意味論</p> <p>1. 語の意味を成分分析できる</p> <p>事前学習：教科書 122-126 ページを読んで理解しにくい部分を明確にする A-2-2)-①</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ファンダメンタル英語学 改訂版	中島 平三	ひつじ書房	2011

・成績評価方法

1. 定期試験 60%
2. 小テスト、提出物、参加態度(予習状況、授業中の発言、授業中の活動への積極的姿勢)など 40%

・特記事項・その他

1. 基本的には講義形式だが、適宜授業の中で演習問題を課し、学生同士で教え合う時間を設け、全体及び個々の学びを深める。
2. 事前学習及び事前学習時間
 予習：指示された次回の授業の範囲には予め目を通しておく。一読し、理解が難しいと感じた点を書き留めておく。事前学習の時間は最低 30 分を要する。
 復習：授業中に理解しきれなかったところを見直し、重要なポイントは自分の言葉で簡単にまとめておく。必要によって次回の授業で質問できるようにしておく。
3. ハンドアウトは授業中に適宜配布する。
4. WebClass で課題を課すこともある。
5. 小テストは採点後に返却・解説する。
6. 提出物を課した場合は添削後コメントを付して返却する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			